

平成29年度海外販売促進活動報告書

平成29年9月26日

農林水産省
食料産業局長 殿

全国農業協同組合連合会
輸出対策部
全農インタナショナル(株)
米穀・園芸部

平成29年度海外販売促進活動について、下記のとおり報告いたします。

対象国・地域 : タイ(バンコク)
実施期間 : 平成29年9月19日～ 9月25日
(フェアに係る出張 : 平成29年9月20日～ 9月22日)



「タイ全農青果物フェア」

1. 『タイ全農青果物フェア』について

- (1) 期間 : 平成29年9月19日(火)～9月25日(月)
- (2) 場所 : 1. UFM Fuji Super 2号店
2. UFM Fuji Super 1号店
3. UFM Fuji Super 4号店
- (3) 出席者 : Daisho Tailand : Suchada Director, Habano Assistant General Maneger
全農 : 輸出対策部 遠藤
全農インターナショナル(株): 米穀・園芸部 橋詰次長
- (4) 内容 : 全農はオールジャパンという観点から、タイにおいても梨・りんご多産地リレー出荷を目指している。今回は千葉県産梨(豊水)・岩手県産りんご(紅ロマン)・山梨県産ぶどう(シャインマスカット)を中心に販売。
また、早生りんごの日持ちが悪い問題を解決するため、CAコンテナ使用し、結果の検証を行った。なお、コストダウンを図るため、空スペースに数品目の青果物を同梱した。結果は、主要品目の梨・りんご・シャインマスカットの着荷状態がよかったのに対して、ピオーネ(脱粒・過熟)、ブルーベリー(過熟)、メロン(過熟)がよくなかった。
販促は、3店舗において日青協および全農の販促資材で売り場作りし、タイ語のプロモーターによる試食販売を実施した。なお、現地日本人コミュニティー向けのフリーペーパーに全農フェアの事前告知を行ったため、多数の来場につながった。
- ①出荷日程
8月31日、横浜倉庫へ納品・植物検疫。
9月1日、横浜倉庫でバンニング・通関。
9月3日、出港。
9月10日、ラッカバン(バンコク)港到着。
9月15日、輸入社倉庫到着・検品。
9月16日、販売店舗に搬入。
- ②出荷内容は別紙のとおり。

番号	商品名	産地	ケース重量kg	数量
1	梨(豊水10玉)	千葉県	5	18
2	梨(豊水12玉)	千葉県	5	180
3	梨(豊水20玉)	千葉県	10	30
4	梨(豊水10玉)	佐賀県	5	50
5	メロン(5~6玉)	千葉県	9	2
6	メロン(2玉)	山形県	4	20
7	ブルーベリー(100g)	千葉県	1	2
8	ぶどう(ピオーネ350g)	山梨県	3.5	10
9	ぶどう(シャインマスカット350g)	山梨県	3.5	30
10	りんご(紅ロマン32玉)	岩手県	10	5
11	りんご(紅ロマン36玉)	岩手県	10	35
12	人参(70本入り)	北海道	10	4
13	大根(10本入り)	北海道	10	6
14	かぼちゃ(7~8玉)	北海道	10	6

輸送はCAコンテナ使用。画像は輸入社倉庫到着時のもの。着荷状態はおおむね良好であった。以下のものについて船による輸送は避けるべきと判断。



ブルーベリー



ぶどう(ピオーネ)



メロン

- ・ブルーベリーとメロンは過熟で値引き販売をせざるをえなかった。
- ・ピオーネは脱粒と過熟で商品価値なく廃棄処分とした。

JA全農

日本全国で収穫される、今が旬の秋の味覚をぜひご賞味ください。

全農

果物&野菜プロモーション

9月19日(火)▶25日(月) フジスーパー1号店・2号店・4号店

JA岩手中央会



紅ロマン
1個 **149B**

JAフルーツ山梨/JAふえぶき



ピオーネ
1パック **450B**
シャインマスカット
1パック **650B**

JA伊万里



豊水
1個 **229B**

JAようてい



かぼちゃ
1kg **245B**

JA幕別



にんじん
1kg **200B**

JAようてい/幕別



だいこん
1kg **165B**

※天候等の理由により価格の変更および入荷できない場合がございます。予めご了承ください。

●UFMフジスーパー1号店 (Sukhumvit Soi 33/1)

●UFMフジスーパー2号店 (Sukhumvit Soi 39)

●UFMフジスーパー4号店 (Sukhumvit Soi 49)

バンコク日本人コミュニティ向けフリーパーパーに掲載する全農フェア広告

フジスーパー1号店



FUJI SUPER 宮地仕入れ責任者と打ち合わせ、以下コメントをいただいた:

- ・来店客の7割は日本人、3割はタイ人。
- ・いままで日本産種子を使ってタイで栽培した野菜類を販売していたが、2年前から日本産の青果物を販売している。
- ・日本の駐在員の年齢層は年々下がっており、現在30～40歳帯はもっとも多い。子育てで金がかかる時期であるため、高級品の果物よりごろなものを求める傾向にある。
- ・一方タイ人富裕層は商品に気に入れば価格にあまり気にせず、まとめ買いさえある。



日青協・全農・産地の販促資材を活用して売り場作りをおこなった。



全農および全農インタナショナルの職員と現地タイ語のプロモーターは試食販売を行った。

フジスーパー2号店



店舗の入り口近く販促売り場を設け、入店客の目につきやすいところである。



冷蔵ケースにもフェア商品を販売。



現地在住日本人は熱心に商品について質問し、購入していただいた。

フジスーパー4号店



店舗入り口と隣接冷蔵ケースに全農青果物コーナーを設けて販促。



全農および全農インターナショナルと現地プロモーターによる試食販売。



全農インターナショナル職員による売り場での商品整理。

4. 所感

- ① CAコンテナ輸送結果は大きなダメージがなく、販売コストダウンを図ることができた。
- ② フジスーパーのバイヤーの意見を直接聞けたことで、今後の商品提案に活かして行きたい。

5. 今後の進め方

- ①今年12月に岩手県産りんご・洋ナシ・さつまいもなどを中心に販促フェアを企画する。
- ②来年2月に千葉県産いちご・さつまいもなどを中心に販促フェアを企画する。

以上